

# 2017年12月期 第1四半期決算

---

株式会社アプリックス  
2017年5月11日

## 経営体制及び商号変更について



2017年3月28日開催の第32回定時株主総会の決議に基づき、以下の役員体制に変更いたしました。

また、平成29年3月28日開催の第32回定時株主総会の決議に基づき、2017年4月1日付で当社商号を「アプリックスIPホールディングス株式会社」から「株式会社アプリックス」に変更いたしました。

新体制のもと更なる企業価値向上に向けて役職員一同全力を注いでまいります。

### 現状の役員体制

代表取締役  
取締役  
社外取締役  
常勤監査役  
社外監査役  
社外監査役

長橋 賢吾  
石黒 邦宏  
平松 庚三  
根本 忍  
新田 喜男  
山田 奨

# 17年12月期第1四半期 累計P/L（連結）



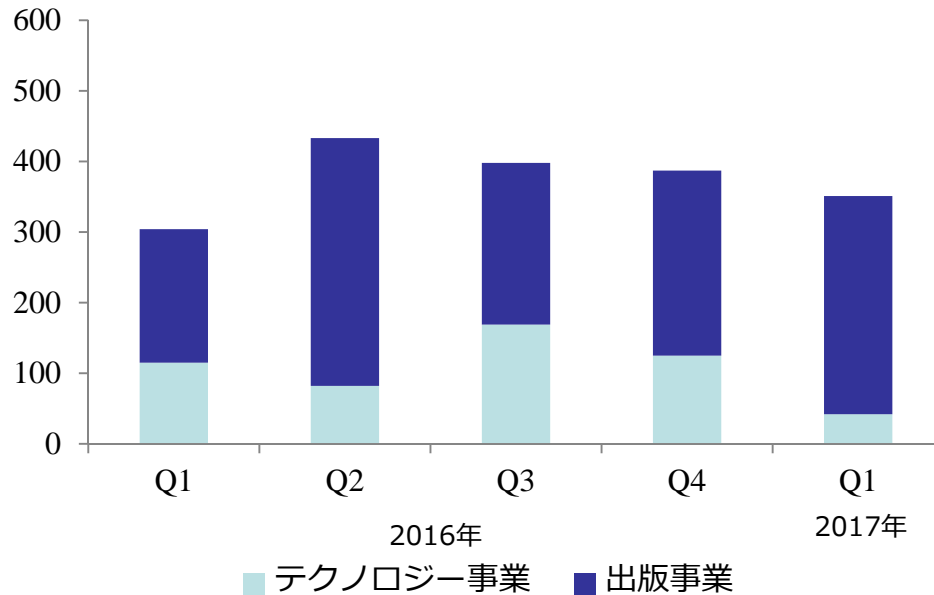
（単位：百万円）	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益
16年12月期 Q1累計実績(A)	305	▲369	▲375	▲375
17年12月期 Q1累計実績(B)	351	▲123	▲134	▲621
増減額 (B-A)	+46	+246	+241	▲246
増減率 (%)	15.1%	-	-	-

- 継続したコスト削減の効果で営業利益は246百万円改善
- 2017年3月31日に実施した出版事業子会社3社の株式譲渡により、関係会社株式売却損350百万円を含む特別損失463百万円が発生したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期と比較して減少。

# 17年12月期第1四半期 売上高セグメント推移



単位：百万円



(単位：百万円)	2016年	2017年	増減率
	Q1	Q1	
テクノロジー事業	115	42	▲63.5%
出版事業	189	309	▲63.5%
(売上高合計)	304	351	▲15.5%

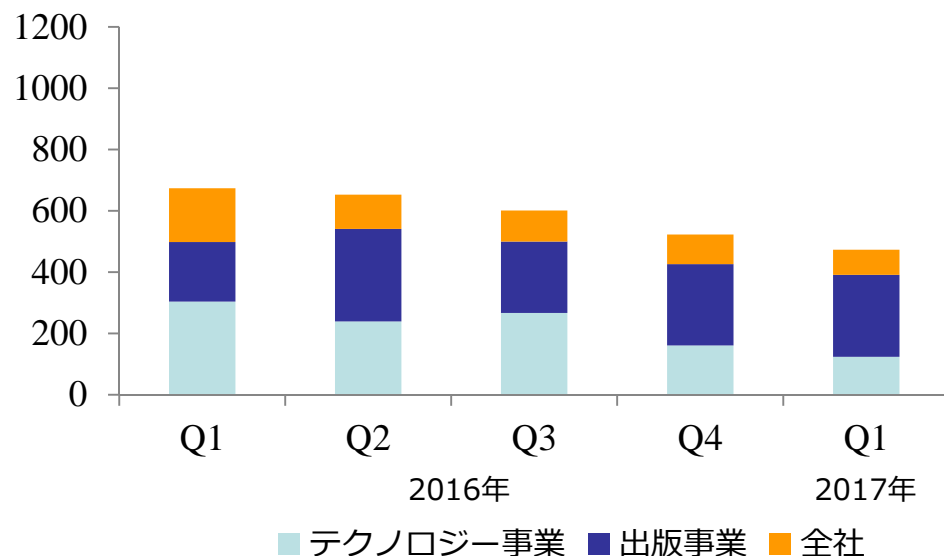
- テクノロジー事業については、旧来のソフトウェア基盤技術事業に関連したロイヤリティ収入が終息。第1四半期会計期間末現在において当社の受注認識基準に達しなかったことから受注実績に計上しなかったIoTソリューションの有力案件が複数存在しており、これらは第2四半期以降順次売上高に反映される予定。
- 新製品の提供開始、及び広報宣伝活動の更なる強化等により売上拡大を目指す。

※出版事業については、2017年3月31日に、出版事業に属するアプリックスIPパブリッシング株式会社、フレックスコミックス株式会社及び株式会社ほるぷ出版の全株式を譲渡。

# 17年12月期第1四半期 営業費用セグメント推移



単位：百万円



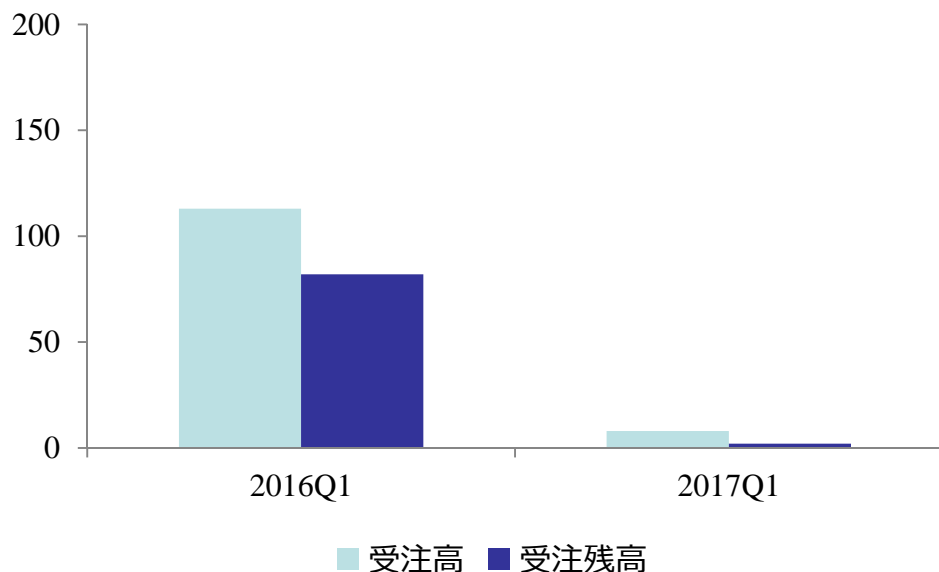
(単位：百万円)	2016年	2017年	増減率
	Q1	Q1	
テクノロジー事業	304	124	▲59.2%
出版事業	194	267	37.6%
全社費用	176	82	▲53.4%
(営業費用合計)	675	475	▲29.6%

本社等で複数使用しているフロアについて一部中途解約を実施する等、固定費等の削減を目的とした継続的なコスト削減策により、前年同期より営業費用は29.6%削減

# 17年12月期第1四半期 受注高・受注残高



単位：百万円



(単位： 百万円)	2016年	2017年	増減率
	1Q	1Q	
受注高	113	8	▲92.9%
受注残高	82	2	▲97.6%

受注高及び受注残高の主な減少要因は、IoTソリューション事業において、すでに開発等に着手しているものの第1四半期会計期間末現在において顧客と仕様や受注金額を協議中であり当社の受注認識基準に達しなかったことから、当社として受注実績に計上しなかった案件が複数存在すること等によるもの。なおこれらの案件については今後順次受注実績に計上される見込み。

## 17年12月期通期業績予想（連結）



(単位：百万円)	売上高	営業利益
2016年12月期(A)	1,526	▲929
2017年12月期 業績予想(B)	1,054	12
増減額 (B-A)	▲472	+941
増減率 (%)	▲30.9%	-

出版事業における連結子会社3社の株式譲渡のため、全体の売上高は前年度より減少。IoT事業については、当社IoTモジュールを搭載した浄水器、空気清浄機等のIoT製品の販売が開始し、またアプリケーション及びクラウドシステムの開発等のソリューション売上が増加している等、その成果が具体化していることから、今後の事業の収益性の拡大に向けて更なる取り組みを進めることで、前年度のIoT事業の売上高より60%増加となる見込み

## IoTソリューション事業

売上 = 地域 × カテゴリ

{ 日本  
米国

{ ビーコン  
サービス  
レベニューシェア





## ビーコン

ロケーションビーコンはMyBeacon®として国内ネット販売  
16年12月に価格改定(1個あたり1200円→2500円)  
ビーコン販売でも利益を出せる体制に  
お知らせビーコンは、家電機器への組み込み中心

## サービス

国内メーカー等とのタイアップでアプリ・クラウドを提供

**食品系:** ユーザの嗜好把握のため今後コーヒーメーカー等  
機器とスマホとの連携が拡大の見込。

ビーコン+サービスでスマホ連携の需要を取り込む

**テレマティクス:** 自動車保険におけるユーザの乗車履歴等  
をスマホアプリを通じて把握する需要が拡大、  
これまでの実績をもとに保険会社とのタイアップを目指す

海外子会社Aplix Corporation of America（米国カリフォルニア州）が中心となり  
米国・欧州向けにIoTソリューションを提供

### ビーコン

お知らせビーコンが主流で、アプリ・クラウドとセット  
日本にくらべて、製品導入までの意思決定スピードが速い。  
すでに商用製品も出荷しており、顧客数を拡大。



### サービス

**浄水器**：Aquasanaなど採用実績があり、既存顧客からのリピート  
オーダーに加えて、新規顧客へのソリューション展開。

**ペット・空気清浄機**：Our Pet's, Guardian社など既存顧客からの  
リピートオーダーにくわえて、新規顧客展開を実施。米国Amazon.comのAlexa Skillにも対応。

# 選択と集中

- 出版事業（コミック、児童書）については非中核事業であることから切り離しの検討を進めた結果、2017年2月23日の取締役会にて、アプリックスIPパブリッシング株式会社、フレックスコミックス株式会社及び株式会社ほるぷ出版の全株式の譲渡を決定し、平成29年3月31日に本株式譲渡を実施。
- IP戦略部門、半導体開発部門は廃止、海外拠点も米国以外すべて撤退し、IoTソリューションにリソースを集中。

# コスト削減

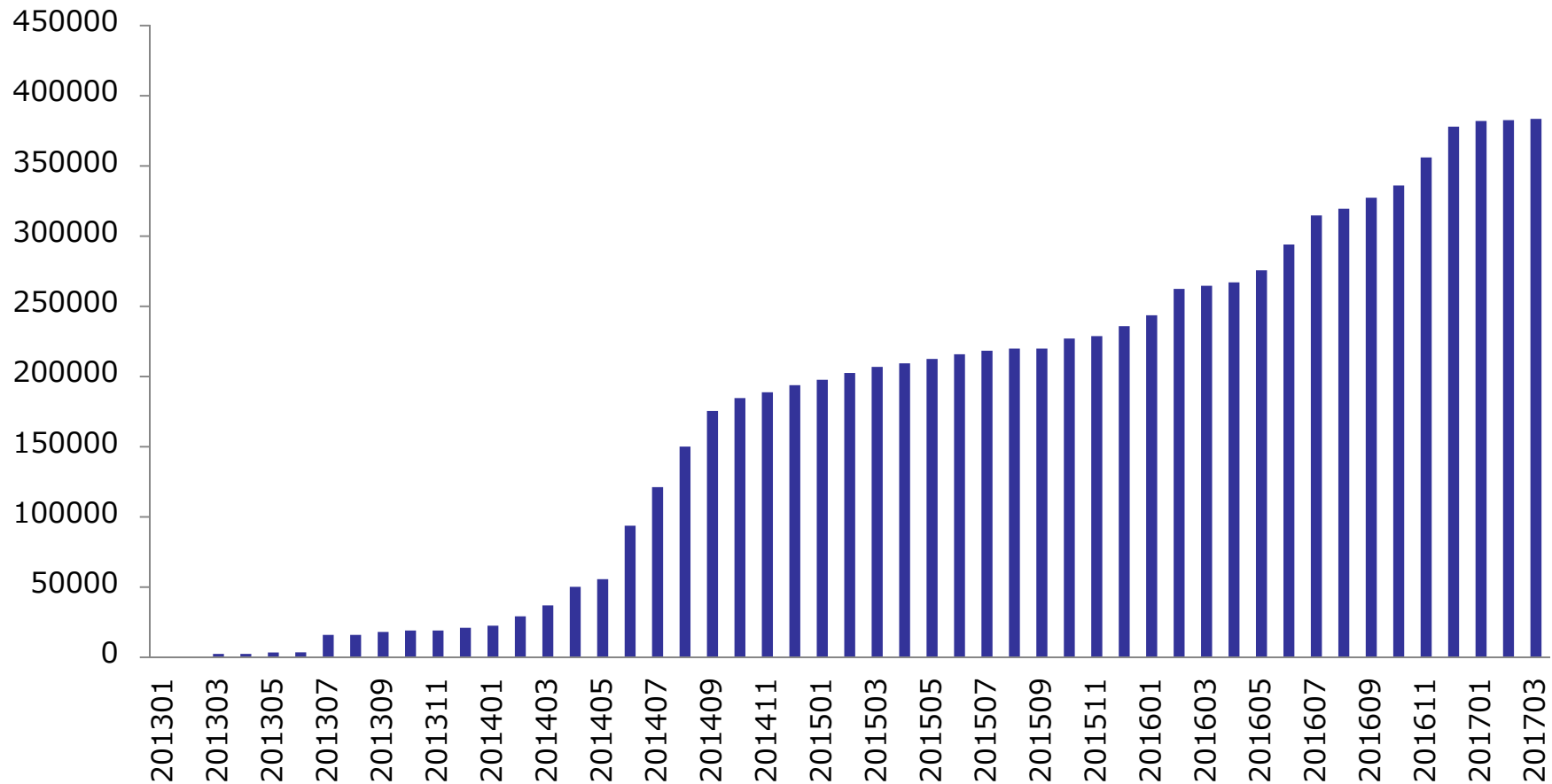
- オフィス賃料、業務委託費等、あらゆるコストについて見直しを実施、不要不急のコストを抜本的に削減。

# BLEモジュール出荷台数



17年1月に、BLEモジュール累計出荷台数38万台を突破

(単位：台)



出所：会社資料

BLEモジュール、JMシリーズ、MyBeaconシリーズ、その他を合計

2017年1月11日発表

## 当社IoTソリューションが採用された ブラザーエンタープライズ社製 IoT LED ライト 「MAmoria it（マモリアアイティー）」先行発売

株式会社ブラザーエンタープライズ「MAmoria it」には、  
当社IoTソリューション「Aplix ConstantBridge IoT Platform」  
が採用されています。

「MAmoria it」は「au 発表会 2017 Spring」でauの

公式アクセサリー  
「au+1collection  
SELECT」商品として  
紹介されたほか、  
auショップ及び  
auOnline Shopで  
2017年2月から  
購入可能となりました。



2017年2月7日発表

### **米国 Guardian社製空気清浄機操作のためのAlexa Skillを提供開始 当社IoTソリューション採用空気清浄機がAmazon Echoなどで操作可能に**

当社IoTソリューション採用の空気清浄機「CDAP4500BCA」を、「Alexa」を使って音声で操作するためのAlexaスキル「Guardian Technologies」を開発し、Amazon.comの「Alexa Skills Store」で提供開始しました。

この「Guardian Technologies」により、「CDAP4500BCA」は「Amazon Echo」や「Echo Dot」などのAlexaデバイスから音声で操作できるようになりました。

家電製品を「Alexa」対応する場合、通常は専用のハードウェアを設計し、Alexaデバイスとクラウドを介して通信する機能が必要であり、時間とコストがかかります。当社のIoTソリューションを利用することで、スピーディに「Alexa」に対応することが可能です。

2017年2月24日発表

## 専用サーバの構築や維持費が不要 スマホのPUSH 通知で動作するANCSプラットフォーム 「Aplix ConstantBridge IoT Platform」の提供開始

多くのIoT製品では、通信内容や通信先の管理のために、専用サーバやクラウドシステムといった大規模なシステムと、それらの継続的な維持・管理が必要となり、そのためのコストが問題となっています。

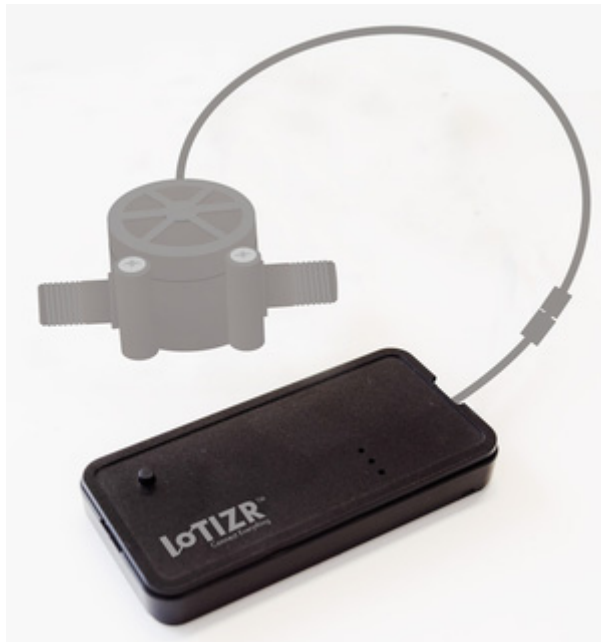
「Aplix ConstantBridge IoT Platform」は、専用のサーバを立てることなく、ANCS（Apple Notification Center Service）を使用したPUSH通知連携による機器操作を可能にするIoTプラットフォームです。

「Aplix ConstantBridge IoT Platform」を採用した最初の製品が、株式会社ブラザーエンタープライズ製IoT LEDライト「MAmoria it」です。

2017年3月27日発表

## 新製品・外付けIoTユニット「IoTIZR™(アイオータイザー)」を含む浄水器のIoT化に最適なトータルソリューションを提供開始

「IoTIZR™ (アイオータイザー)」は、各種センサーと接続し、センサーから受けた情報をスマホやクラウドに発信する小型のユニットです。



「IoTIZR」を含む、浄水器のIoT化に最適なソリューションを米国及びヨーロッパで提供開始し、浄水器業界向けの展示会「WQA Convention & Exposition」で、流量センサーが計測した水の量を、「IoTIZR」がWi-Fi経由でアプリックスのクラウドに送信するIoTソリューションの展示・デモを行いました。





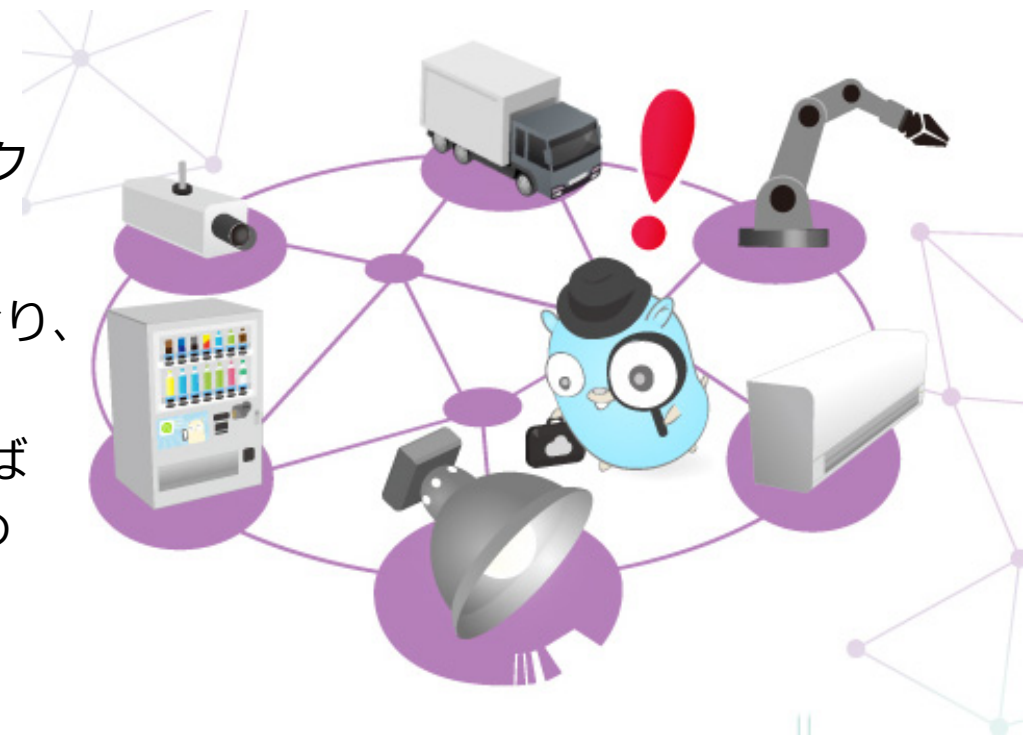
2017年4月27日発表

### IoTセキュリティスキャナー「Gumwheel™(ガムホイール)」を 5月から提供開始

「Gumwheel™ (ガムホイール)」は、ネットワークに接続されたIoT機器をまとめてスキャンし、セキュリティリスクがある機器を検出するソフトウェアです。

「Gumwheel」はGo言語で開発されており、LinuxやWindowsが動作するPCなどにインストールし、ネットワークにつなげば即スキャン開始できます。IoT機器側での準備は必要ありません。

対象のIoT機器や導入場所を選ばず、簡単に使うことができる手軽さが特長です。



図内のGopher(Go言語のマスコットキャラクター)は株式会社アプリックスが作成しました。Gopherの原作者はRenée French氏です。

## 補足資料 - Appendix

# 会社概要



## 会社名

株式会社アプリックス  
[英文表記：Aplix Corporation]

## 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## 設立年月日

1986年2月22日

## 資本金

1,861百万円 [2017年3月末現在]

## 売上高

1,526百万円（連結） [2016年12月期]

## 従業員数

72名（連結） [2017年3月末現在]

## 役員

代表取締役 兼 取締役社長	長橋 賢吾
取締役	石黒 邦宏
社外取締役	平松 庚三
常勤監査役	根本 忍
社外監査役	新田 喜男
社外監査役	山田 奨

## 事業内容

テクノロジー事業

## グループ会社

Aplix Corporation of America 他

### **長橋 賢吾（代表取締役 兼 取締役社長）**

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャーブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月に当社取締役・CFO・チーフエコノミスト、2017年2月より当社代表取締役 兼 取締役社長。

### **石黒 邦宏（取締役CTO）**

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。株式会社ACCESS取締役CTOを経て、2015年4月に当社CTO、2016年3月より当社取締役に就任。



## セキュリティ

ネットワーク上のセキュリティ  
リスクのあるIoT機器をまとめて  
検出。

IoTセキュリティスキャナー  
「Gumwheel」



## デバイス

Bluetoothモジュール  
「JM1L2S」  
Wi-Fiモジュール、国内シェア  
No.1  
「MyBeaconシリーズ」



## アプリ

iOS、Android対応。IoTデータを  
取得するビーコンサービスアプ  
リ「hubea」を提供、クラウド  
との連携も可能。



## クラウド

すべてのIoTデータを蓄積したプ  
ラットフォームから、必要に応  
じてデータを提供。**ビッグデー  
タを活用した新たなサービス**  
を創造します。



株式会社アプリックス  
<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。